



補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。

- 主催・主管：(公社)岩手県サッカー協会、キッズ委員会 各地区
- 運営：地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFA キッズリーダー、父母の方々など
- 対象：少年団・クラブチーム・スクール所属のキッズおよび準ずるキッズ（傷害保険に加入のこと）
- 内容：2002年にJリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した、「補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦に固執せず、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分けして（補欠を作らず4~5人制）、そのチームでその日限りのリーグ戦を戦い抜きます。

- ★試合には常にレギュラー選手としてフル出場
- ★混成するので団員1人での参加も大丈夫
- ★4~5人制でボールに関わるシーンが多い
- ★混成チームの中でプレーすることで社会性を養う



岩手県 盛岡地区（最終節）

2019年3月16日（土） 盛岡市 岩手県営体育館 8:30~17:00

カテゴリ：小1 / 小2 / 小3~小4 団体フットサル交流会

参加人数：215名（1年47名、2年78名、3年・4年90名）



小1の部





小2の部



岩手県 盛岡地区 (本年度ダイジェスト)



ファミリーフットサル



ファミリーフットサル



父 vs 父



母 vs 母





盛岡地区 キッズ補欠ゼロリーグ

- 対象団体： 緑が丘、仙北、アントス、青山、月が丘、松園、太田東、MIRUMAE 山岸、上田、中央、グルージャ、雫石、羽場飯岡、大宮、手代森、厨川 向中野、イースト、玉山、OGASA、Grows、大新、YMCA、矢巾 南公園、AOBA、県協会月が丘スクール、県協会エリート盛岡スクール
- 運営本部： 大久保和志（盛岡市協会キッズ委員長・月が丘） 石山信三（盛岡市協会キッズ委員・山岸） 吉田隆一（事務局代行・山岸） 鎌澤和之（県協会）
- 協力： 青山サッカー少年団（冬季、幼児の部開催会場の確保等）
- 協賛： シライシパン（パン・和洋菓子の製造卸売業）



●担当責任者コメント

3月16日に今年度最後の盛岡地区「補欠ゼロリーグ」が岩手県営体育館で開催されました。当日はU-8（1年生・2年生）を午前中、U-10（3年生・4年生）は午後からと分かれて行いました。

今年度、夏季は「いわぎんスタジアム」（U-6、U-8）、冬季は「岩手県営体育館」（U-8、U-10）、「青山小学校体育館」（U-6）にて行い、各種大会や学校行事等で参加人員が少ない時もありましたが、各開催日で130名を越す大勢の子供たちの歓声が会場に響きました。

U-6（幼児の部）の子供たちは、春にはお母さんやお父さんを探してサッカーになりませんでしたが、1年を経過するころには友達もたくさん出来、元気はつらつでコートを走り回っていました。

U-8の子供たちは、ボールを蹴る格好も様になり、中には指導者を唸らせる子供もおり将来が楽しみなプレーを見せてくれました。

2月9日には前年度も行いました「ファミリーフットサル大会」を開催し、お父さん、お母さんと一緒にゲームを楽しみ、好プレーあり、珍プレーありと子供も楽しみましたが、親も楽しかったみたいで「久々に汗をかいた」「子どもと一緒に楽しかった」「もっとゲームをしたかった」という声が聞こえてきましたので、やってよかったと実感いたしました。

盛岡市「キッズ委員会」では、夏季、冬季と子供たちが動き回れる環境作りを行っております。

その他ゲーム終了後子供たちが楽しみにしておりますネオトースト、ホイップメロンパン等でお馴染みの「シライシパン」さん提供のパンを参加者全員に差し上げております。お近くのスポーツ少年団又はクラブチームにお問い合わせいただいて、どしどしご参加ください。お待ち申し上げます。

盛岡地区 補欠ゼロリーグ 担当： 大久保 和志

撮影 編集： 鎌澤和之（県協会）

